

指定管理候補選考委員会における意見

施設名	直鞍産業振興センター 本館		
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
担当課	商工観光課	評価年度	令和5年度
令和5年度は、令和2年度より続いていた新型コロナウイルス感染症が感染法上の分類が第5類に引き下げとなったことや、EMC 検査の需要が増加したことにより、計画値を大幅に超える黒字となった。 新規顧客獲得のための営業活動の実施や、研修等に積極的に参加する等、職員の自己研鑽にも努めている点についても高く評価できる。 通信機器の更なる普及・技術の進化に伴い、EMC 測定に対するニーズは高まっており、これら企業ニーズと正確な検査実施のための定期的な機器のメンテナンス・設備更新時期の調整が課題となっている。 今後は、企業ニーズに応えつつ、計画的なメンテナンス・設備更新の実施に努めていきたい。また、近年、空き状況の確認も含め、インターネット予約システムを導入している公共施設が増えており、当該施設に対しても同様のサービスを求める声が出ている。これらのサービスは、既存顧客の満足度向上だけでなく、新たな顧客獲得・施設の付加価値向上に繋がるものであることから、導入については速やかに検討していただきたい。			

施設名	直鞍産業振興センター 別館		
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
担当課	商工観光課	評価年度	令和5年度
防災対策について、避難経路図の整備・関係者間での共有など、前回評価時と比較し一部改善も見られたが、事業計画書に記載されている避難訓練については未実施となっている。当該施設には、シルバー人材センター事務局や、無料経営相談を実施する等、不特定多数の方が利用される施設でもあるため、一層の防災・防犯対策を徹底していただきたい。 令和5年度は、研修室利用の増加や、市から委託された無料経営相談事業を実施する等、利用料収入は計画値を上回っている。また、直鞍地域の小中学生を対象としたイベント開催等、自主事業を積極的に実施している点は高く評価ができる。 今後は、施設の老朽化対策・パソコン機器等の更新等を計画的に行いながら、市と協力し、地域の産業振興の拠点として今後、積極的な事業提案・実施に取り組んでもらいたい。			